

秋の街道を彩る「お通り」



11月3日、街道東城路（東城市街地）周辺で、伝統行事「お通り」が開催され約1万5千人が沿道に集まりました。「お通り」は、慶長6年（1601年）に地元の五品巖城主だった長尾隼人が、関ヶ原の戦いの戦勝祝いとして始めたのが起源とされます。コロナ禍の影響により、今回3年ぶりの開催となりました。

また、街道東城路周辺では11月2日～6日に「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」も開催され、街道沿いの商店や民家には、展示品や東城高校の生徒が作成した「からくり文字」などが並びました。

【お通り】

- ①③矢よけの武具が起源とされる「母衣」を背負った子どもたち ②本陣（東城小グラウンド）での大名・武者合同演武
- ④太鼓・法螺貝武者や鉄砲隊などさまざまな装いの武者行列 ⑤城山橋での大砲隊演武 ⑥お通り姫

【東城まちなみぶらり散歩ギャラリー・東城たてものがたり】

- ⑦東城保育所園児による「わんぱくお通り隊」 ⑧街道沿いの伝統的な建物を紹介する「東城たてものがたり」
- ⑨「たいしゃくきょう」「とうじょうがわ」など東城にちなんだ言葉を使って「愛」や「夢」の字を書く「からくり文字」

